



こうがいがくしゅう

ねん くみ ()

「でんしゃには、たくさんのひとがのっています。これからおしごとにむかうひとだっています。だから、けっしてさわがしくしてはいけません。でんしゃのなかではなにがあってもしゃべりません。いいですね？」

せんせいがいっていたことを、チサはきちんとまもろうとおもいました。

チサたちは、こうがいがくしゅうで、となりまちのこうえんへいきます。だから、でんしゃにのるのです。

でんしゃにのると、すでにたくさんのひとがのっていました。みんなバラバラになってでんしゃにのりこみました。

でんしゃがすすむと、チサはだんだんきぶんがわるくなってきました。きっと、のりものよいです。

「おじょうさん、ここ、すわる？」

かおをあげると、めのまえにすわっていたおばさんがせきをゆずってくれようとしていました。

おばさんのすわっていたざせきにすわると、きぶんがわるいのがおさまってきました。

チサたちのおりるえきに つきました。

「おさまったようで、よかったね。きをつけてね。」

ありがとうございます、といおうと したところで、ふと きが つきました。

でんしゃのなかでは、しゃべってはいけないきまりでした。チサは、どうすればいいか、こまってしまいました。



チサは、「ありがとう。」というべきでしょうか。あなたのかんがえと りゆうを かきましよう。

.....

.....

はなしあって かんがえたことを かきましよう。

.....

.....